

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	なかよし保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成23年1月26日

総 評	<p>なかよし保育園は昭和47年4月に開設され、理念である「子ども一人ひとりの人格を尊重し、子どもにとって最善の利益に配慮しながら、まごころ込めての関わりを大切に」を念頭に、日々保育が実施されています。また、平成22年4月には分園「あいあい」が開設されました。</p> <p>閑静な住宅街にあり、そのうえ広い園庭が整備され、そこには多種の木々が植えられ、果実の収穫もできる緑豊かな環境が整っています。園舎内は明るく、子ども達が心地良く過ごす事のできる環境となっています。</p> <p>保育ニーズに応え地域に根ざした子育て支援の拠点として、施設が持つ機能を地域・利用者に還元されています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎内外共に安全管理・衛生管理・備品整理が行き届き、子ども達が心地よく過ごすことのできる環境が整い、自発的に活動できる工夫がなされています。 ・身近な公共機関を利用した社会体験の工夫がみられ、バスの乗車体験・植物園、工場見学等が行われています。散歩時に集めた自然の素材に触れ、制作や楽器作りに活かすとともに、作品は丁寧に園内に展示されています。 ・玄関に情報BOXが設置され、行政や関係機関からの資料を保護者が自由に持ち帰る事が出来る仕組みとなっています。また、感染症の情報を書面で貼り出し感染症予防の取り組みがなされています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種規定・対応マニュアル・実習生の受入れに関する事項・研修計画等の整備をされることが望ましいでしょう。特に安全・事故防止については早急なマニュアル整備が望まれます。 ・保育課程・指導計画については定期的な評価・見直しを行うとともに記録し、次の計画に反映されることが望ましいでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
		① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	B	A
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	B	A	
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	C	B	
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	B	B	
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・法人の「運営理念」「経営理念」並びに保育園の「保育理念」や「保育方針」「保育の目標」は『なかよし保育園の概要』、『なかよし保育園菜』に明文化され、職員や利用者をはじめ、園への見学者や子育て支援拠点事業「なかよしひろば」に訪れた人へも周知されています。さらに地域の関係者への周知を工夫されることが望ましいでしょう。

・保育課程は保育の基本方針や地域の実態に則して編成されています。指導計画は園長、主任を中心に職員会議で随時見直しされていますが、定期的に評価・見直しをする体制や記録を整理されることが望ましいでしょう。

・管理者は自らの役割と責任を職務分担表に明記し、職員会議等において表明しています。

・管理者は職員会議で行政からの情報を伝え、職員が理解する取り組みを行っています。会議の記録や遵守すべき法令等をリスト化することが望ましいでしょう。

・管理者は「園だより」で保育指針の情報を伝えたり、年度初めのクラス懇談会に各クラスの「保育目標」を書面で配るなど質の向上に向けて指導力を発揮しています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	C	B
		II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A
	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A	
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	C	B
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	C	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	C	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	C	B
		② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	C	B
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	C	B
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	B

[自由記述欄]

・園長は宇治市民間保育園長会に加入し、地域の福祉サービスの実態や事業経営を取り巻く環境を的確に把握しています。
 ・園長、主任との間で緊密に連携を図り、職員からの意見や要望を汲み上げやすいよう面談を随時行っています。
 ・新任職員は園長自らが園内研修を行い、職員の質を一定に保つ体制をとっています。外部研修に関しては個人で選択したり管理者の指示により参加しています。教育・研修に関する基本姿勢や評価・見直しを行うことが望ましいでしょう。
 ・保育実習生の受け入れは、実習の意義や方針、実習生が全般を学べるようなプログラムを作成することが望ましいでしょう。
 ・平成22年4月分園「あいあい」を開設し、地域の福祉ニーズに応えています。また、子育て支援拠点事業「なかよしひろば」において、育児相談や育児講座を行うなど保育園の有する機能を積極的に地域に還元しています。
 ・中高生の保育体験を積極的に受け入れ、次世代育成の役割を果たしていますが、ボランティア受け入れの基本姿勢を明確にされることが望ましいでしょう。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	C	B
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	B
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	B
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	B
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

[自由記述欄]

- ・職員会議等でプライバシーの保護について周知されていますが、プライバシー保護や配慮など文書化されることが望ましいでしょう。
- ・苦情解決の担当や受付に関して園内の掲示により保護者に周知されています。また利用者の意見に対しては園長・主任を中心に書面などでフィードバックするなど迅速な対応を心がけています。
- ・第三者評価の2回目の受診に際し、園長・主任を中心として職員の参画のもと見直しを図っています。より一層改善されることが望ましいでしょう。
- ・玄関に「情報BOX」が設けられ、行政からや各関係機関からの資料を保護者が自由に持ち帰れ、情報を得る仕組みがあります。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	B	B
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	B
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	B	B
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	B
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している		B	A	
③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている		B	B	
④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている		A	A	
⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている		B	A	
⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している		A	A	
⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している		A	A	
⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している		A	A	
⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる		A	A	
⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる		B	B	
⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる		C	B	

[自由記述欄]

・健康管理マニュアルを整備するには至っていませんが、その方法については職員間で周知され一人ひとりの体調面に考慮されています。
・月単位で「クラス報告」の書面があり、一人ひとりの子どもの健康状態・必要な配慮事項などが職員間で共有できる仕組みがあります。
・感染症の発生状況は書面で貼りだし迅速に保護者・全職員に通知することで感染防止に配慮しています。対応マニュアルの充実をはかれることが望ましいでしょう。
・調理員は保育士と連携をとり、子どもと給食を一緒に食べたり、行事ごとのクッキング保育や工夫された献立が盛り込まれたりしています。また、一人ひとりの子どもに応じた量の加減が配慮されています。3月の「お別れ会食」には子どもたちのリクエストメニューによるバイキング給食があり、食事を楽しめる工夫がなされています。
・基本的な生活習慣や生理現象に関しては、個別の生活リズムや状況に良く配慮して行われています。
・近くのバス停から1区間の乗車体験を2歳児が行うなど住宅街にある園ならではの経験や年長児の工場見学や植物園など、社会体験の工夫がみられます。また散歩時に集めた自然物で製作や楽器作りをし、子ども達の作品は常に園内に丁寧に飾られています。
・障がい児保育に対し、個別のケース会議や専門機関との連携、また職員は関係する研修に参加するなどの取り組みを行っています。分園はバリアフリーの配慮があります。
・園庭には四季折々の果物や実のなる木、桜やユウカリなどさまざまな種類の木々が植えられ、緑に囲まれた中でゆったりと過ごせる環境が整備されています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	B	B
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	B	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	B	B
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	B	B
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	B

[自由記述欄]

- ・0～5才児までの全園児に対して「連絡ノート」があり、保護者との日常的な情報交換が積極的に行われています。
- ・年2回の保育参観では内容を保護者の参加型とし、子育てについての共通理解を得る機会としています。
- ・児童虐待に関して職員から園長・主任に速やかに報告する仕組みがあります。自治体のマニュアルをもとに園独自のマニュアルが整備されることが望ましいでしょう。
- ・小学校との連携は伝承遊びや給食体験などが盛り込まれています。また、卒園児の訪問を随時受け入れ、卒園後も関わりを持ちやすいよう「来園ノート」を作っています。
- ・平成22年度より一時預かり保育事業に取り組み始め、来年度に向けてさらなる受け入れを考慮し、よりよい体制作りを目指しています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	C	B
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	C	B
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	B	B
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	C	B
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	C	B

[自由記述欄]

- ・調理場の衛生管理は清掃点検表や給食マニュアルに基づき実施されています。
- ・食中毒発生時は速やかに保護者・職員に通知され、その対応についてのお便りの配布、また園長・主任により関係機関との連携・報告する仕組みがありますが、早急に対応マニュアルを作成することが望ましいでしょう。
- ・日常の中で職員が安全点検をし、管理者に報告があがるよう迅速に対応をしています。ヒヤリ・ハットの事例を職員会議で出し合い事故防止に努めています。事例をまとめておくことが望ましいでしょう。
- ・避難訓練では各クラスごとに「評価表」に実施後の反省等を記入することにより職員の安全に対する意識を高めています。不審者の侵入を防ぐために出入り口の施錠、テレビモニターによる来園者の確認、園長自らの来園者の対応、保安要員の配置などで対応しています。より万全を期するために不審者対応時のマニュアルを作成することが望ましいでしょう。